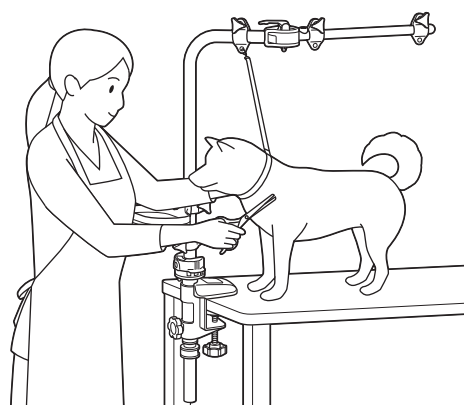


最大適応体重：10kg

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、テーブルに取り付け、グルーミング時に作業しやすい位置で犬を繋ぐための製品です。
正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

もくじ



確認しましょう	■梱包品の確認 ■各部の名称 ■商品の寸法図と仕様	1・2
！安全上のご注意		3・4
ご使用の前に	■組立方法（5・6） ■設定の目安（7・8） ■調節方法（9～12）	5～12
使いましょう	■リーシュを取り付ける	13
お手入れしましょう	■日常のお手入れ方法 ■製品を取り外して、お手入れ・保管する場合 ■クランプを取り外してお手入れする場合	14～16
保証規定、保証書	■保証とアフターサービス	19

保存版
(保証書付)

👉 確認しましょう

梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。

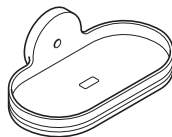
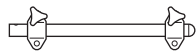
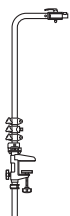
●支柱部：1

●可動アーム：1

●トレイ：1

●クランプカバー

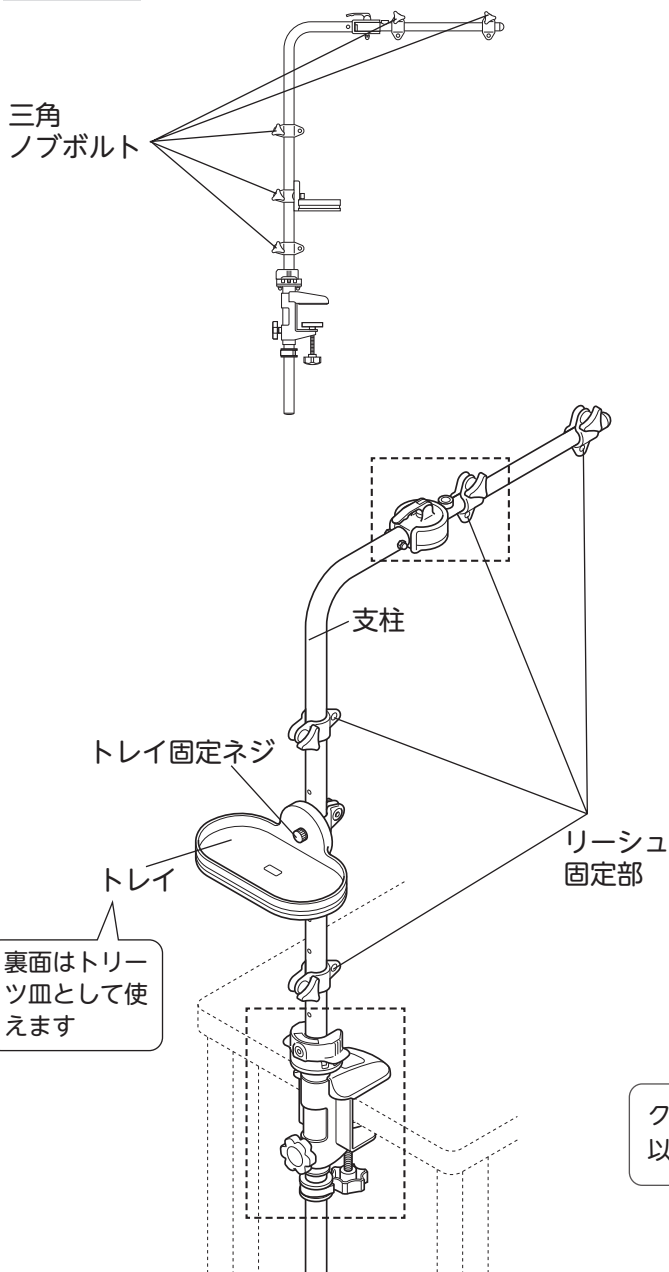
●六角レンチ（4mm）



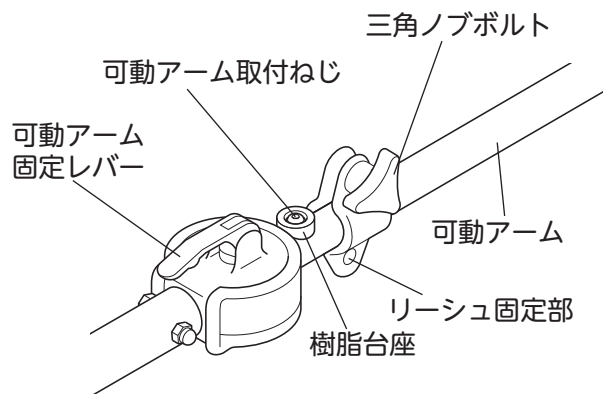
※トレイ固定ねじは支柱に取り付けられています (P.6参照)

各部の名称

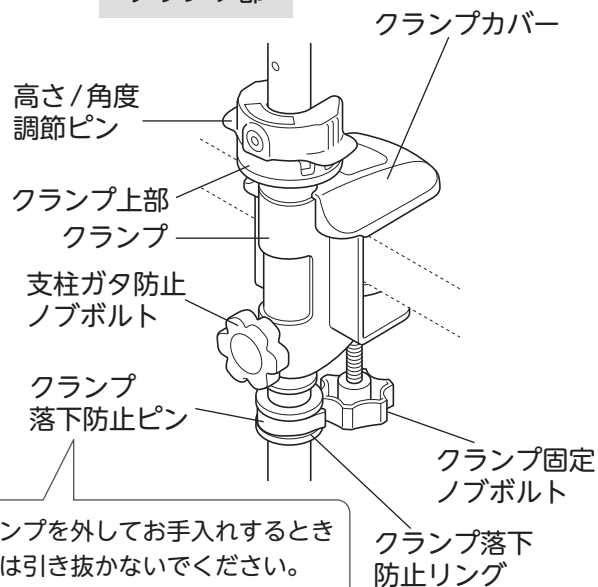
全体図



可動アーム・回転部

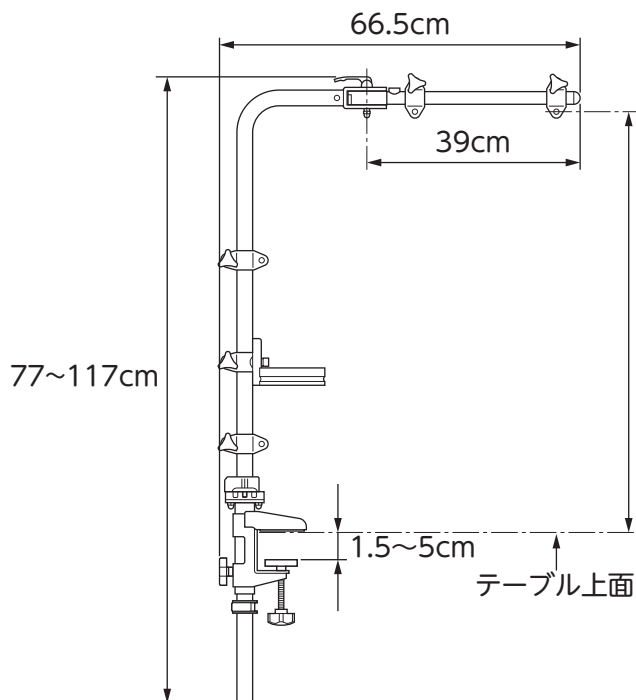


クランプ部

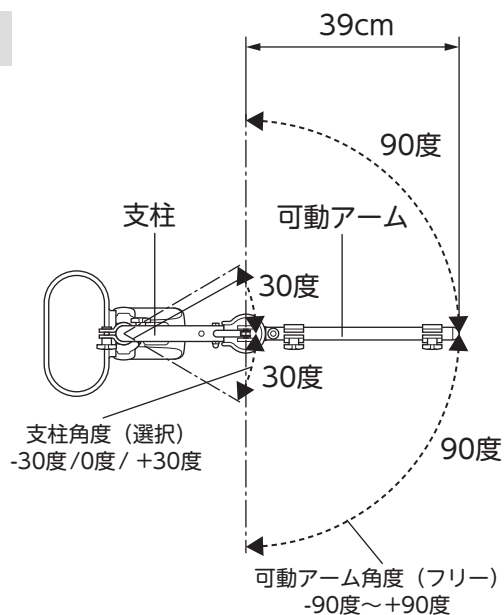


商品の寸法図と仕様

商品寸法図



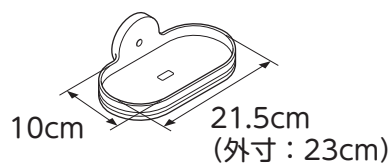
上面図



40~80cm
(5cm ピッチ)

※テーブルから
リーシュ固定
部の高さ

トレイ内寸



仕 様

品 名	リラトリミングアーム		
構 成 部 材	部 品 名		材 質
	可動アーム部	可動アーム	スチール (粉体塗装)・ポリプロピレン
		リーシュ固定部・三角ノブボルト	ポリプロピレン・黄銅・ナイロン・ステンレス
	支 柱 部	支柱	スチール (粉体塗装)・ステンレス・ポリプロピレン
		リーシュ固定部・三角ノブボルト	ポリプロピレン・黄銅・ナイロン・ステンレス
		トレイ固定部・トレイ固定ネジ	ポリプロピレン・黄銅・ナイロン・ステンレス
		トレイ	ポリプロピレン
		高さ/角度調節ピン	アルミニウム・ステンレス
	クランプ部	クランプ・クランプ固定ノブボルト	スチール (粉体塗装)・ポリプロピレン・アルミニウム・ABS樹脂・ステンレス・合成ゴム
		クランプカバー	ポリプロピレン
		クランプ落下防止リング	アルミニウム・合成ゴム
		クランプ落下防止ピン	ポリプロピレン・ステンレス
		支柱ガタ防止ノブボルト	ABS樹脂・ステンレス
商品サイズ重	本体 (トレイ取り付け時): 幅 66.5 × 奥行 23 × 高さ 77 ~ 117cm / トレイ (内寸幅): 幅 21.5 × 奥行 10cm 重量: 約 5.3kg		

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容です。**思わぬ事故（転倒、けが、破損など）の原因となりますので、必ずお守りください。**



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

製品を取り付けるときはトリミングテーブルの取り付け可能条件を守ること

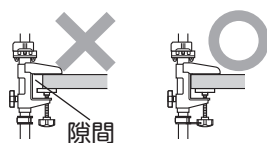
→ P.5 「取り付けるテーブルの確認」を参照

製品を取り付けるときはトリミングテーブルから製品がはみ出ないようにすること

→ P.5 「取り付けるテーブルの確認」を参照

製品が長いので取り付け、取り外し時は周囲にぶつけないよう、十分注意すること

製品を取り付けるときはトリミングテーブルの短辺側に隙間なく当てて、クランプ固定ノブボルトをしっかりと締め付けて取り付けること



ねじ操作部（三角ノブボルト、クランプ固定ノブボルトなど）はしっかりとしめること
使用中にゆるみやガタつきが発生した場合は放置せず、ただちに締め直すこと

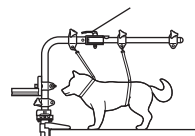
「高さ / 角度調節ピン」は以下のように差し込むこと

- ・ まっすぐに差し込むこと
- ・ 最後まで差し込むこと
- ・ 上下の向きを間違えずに差し込むこと

可動アーム固定レバーは上げきる（ロック解除）か、下げきる（ロックする）こと

→ P.10 「可動アームの角度調節」参照

可動アーム固定レバーをロックした状態でカット等の作業を行うこと



毎回ご使用前に必ず製品にガタつきがないか確認してから使用すること

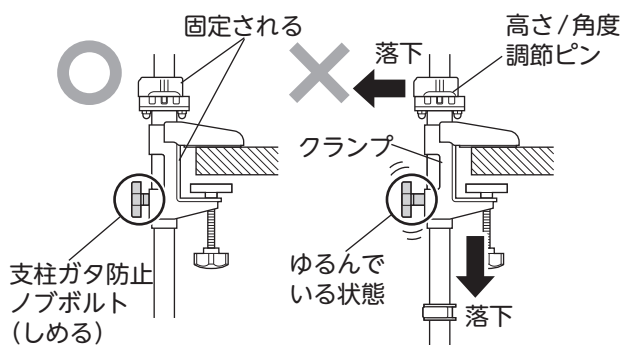
暴れたり、ふらつきのある犬に使うときは十分に注意して使用すること

リーシュは下記のように正しくつなぐこと

- ・ 犬の位置はテーブルの端により過ぎない位置にする
- ・ リーシュのたるみは極力小さくする
- ・ リーシュ固定部のリング以外にリーシュをかけない

テーブルから取り外すときは、先に支柱ガタ防止ノブボルトをしめること

支柱ガタ防止ノブボルトがゆるんでいる状態でテーブルから製品を取り外すと、製品を傾けたときに「高さ / 角度調節ピン」が外れて落下したり、「クランプ」が下に落ちるので、指などを挟んでケガに繋がる可能性があります。



確認しましょう

！ 安全上のご注意

✕ ご使用の前に

♡ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 保証規定、保証書



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

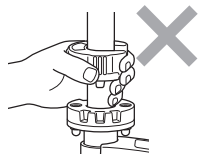
⊘ 絶対にしないこと ⊘

「高さ / 角度調節ピン」とクランプ上部の間に指を入れないこと

指を挟む可能性があります。

十分に注意して操作してください。

この部分に指を入れないこと



トリミングテーブルと製品の間にマット等をはさみ込まないこと

クランプ落下防止ピンを引き抜いた状態で下記を行わないこと

- ・支柱の高さ調節
- ・テーブルからの取り外し
- ・持ち運び



トレイは耐荷重1kgです。耐荷重を超えるものやトレイからはみ出るものは乗せないこと

犬、猫以外の動物に使用しないこと。本来の用途以外で使用しないこと

最大適応体重（10kg）を超えた犬に使わないこと

錆の原因となるため、水・お湯を掛けないこと

薬剤や水・お湯が付いた場合、すぐにふき取ってください。

改造、分解しないこと

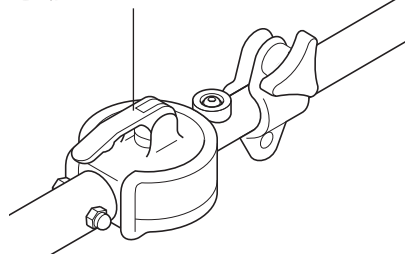
犬を繋いだ状態で製品をトリミングテーブルから外さないこと

商品梱包用のポリ袋は、犬や幼児の届くところに置かないこと

※お手入れ・保管時の注意はP.14を参照してください。

※可動アーム固定レバーは長期間の使用で購入時よりややゆるい操作になりますが、問題なくご使用いただけます。

可動アーム固定レバー



確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

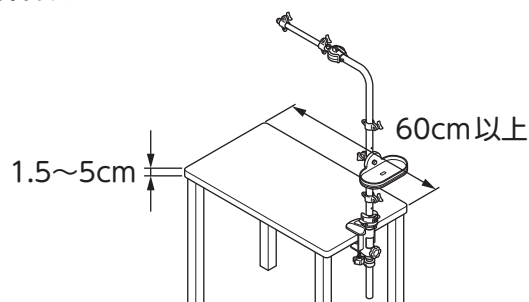
✳ ご使用の前に（組立方法）

取り付けるテーブルの確認

【取付可能条件】

- 厚さ1.5cm～5cm
- 長辺側60cm以上
- 取付箇所が平なこと

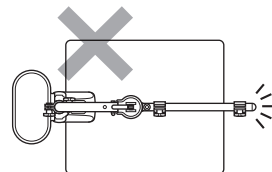
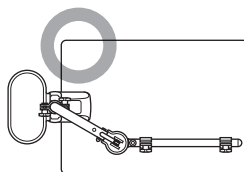
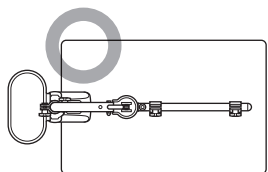
※丸いテーブルには取り付けできません。



注意

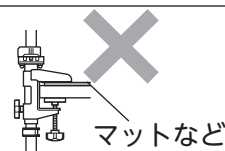


製品を取り付けた状態でアームが机からはみ出さないよう設定すること



※テーブルの長辺側には取り付けできません（アームがはみ出すため）

トリミングテーブルと製品の取付部の間にマットなどを挟み込まないこと



トリミングテーブルに取り付ける

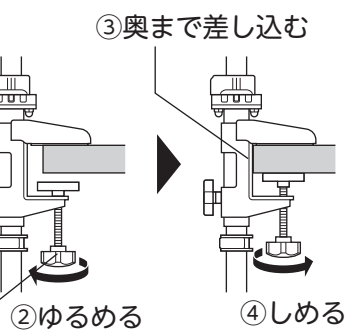
注意



支柱ガタ防止ノブボルトがしまっていることを確認すること

※初期設定ではしまっています。
支柱ガタ防止ノブボルトがゆるんだ状態で製品を持ち上げると、「高さ/角度調節ピン」や「クランプ」が動いたり落下し、けがや破損につながります。

支柱ガタ防止
ノブボルト



①支柱ガタ防止ノブボルトがしまっていることを確認する。

②クランプ固定ノブボルトをゆるめる。

③右図のように奥まで（テーブルの端面とクランプの壁が接する状態まで）差し込む。

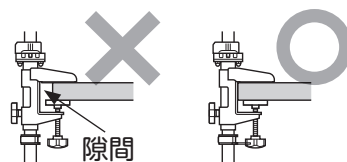
④クランプ固定ノブボルトをしっかりしめて固定する。

クランプ
固定ノブボルト

注意



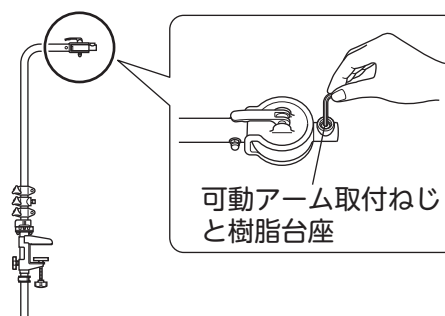
製品を取り付けるときはトリミングテーブルの短辺側に隙間なく当てて、クランプ固定ノブボルトをしっかりしめて固定すること



可動アームを支柱に取り付ける

①支柱先端の可動アーム取付ねじ（樹脂台座含む）を、付属の六角レンチでゆるめて外す。

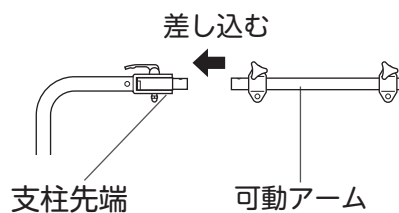
※操作箇所が高すぎる場合は支柱の高さを下げてから取り付けてください。



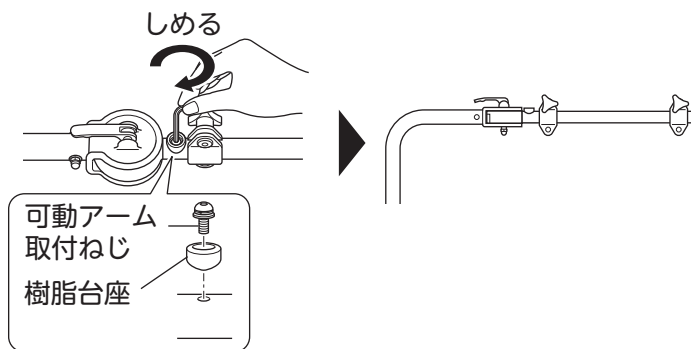
可動アーム取付ねじ
と樹脂台座

アームの高さ調節は…P.9へ

- ②可動アームを支柱先端に差し込み、先端のねじ穴の位置を合わせる。



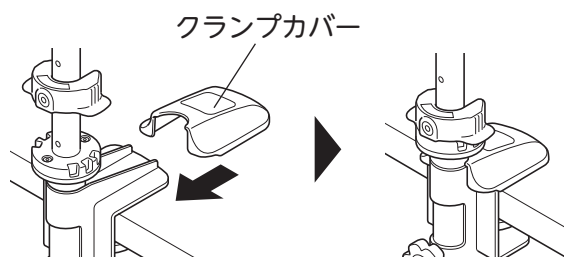
- ③①で外した可動アーム取付ねじ（樹脂台座含む）を②で合わせた穴に差し込み、しっかりしめる。



クランプカバーを取り付ける

図のように支柱の付け根にクランプカバーをスライドさせて、取り付ける。

※外すときは逆方向にスライドさせて取り外してください。

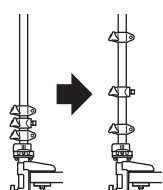


トレイを取り付ける

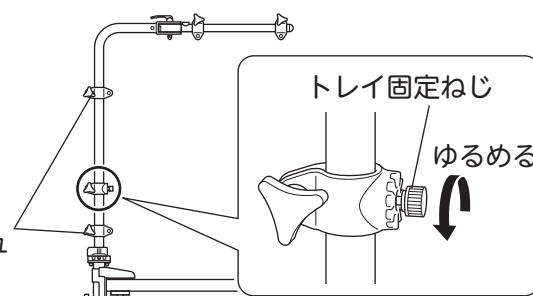
- ①トレイ固定ねじを手でゆるめて外す。

上下のリーシュ固定部に手やトレイが接触する場合、リーシュ固定部をずらしてからトレイを固定してください

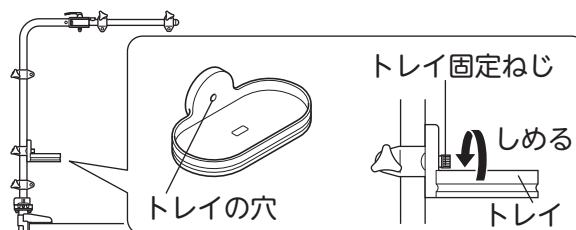
リーシュ固定部のずらし方…P.11へ



リーシュ固定部



- ②トレイの穴に、①で外したトレイ固定ねじを通し、トレイ固定ねじが元々あった場所へ固定する。



※トレイとして使う場合は、トレイをテーブルの外側に配置してください。

※トレイは位置や角度を変えたりトリーツ皿として使用できます。

トレイの高さ、位置及び角度調節は…P.12へ

確認しましょう

！安全上のご注意

＊ご使用の前に

使いまししょう

お手入れしまししょう

？保証規定、保証書

✖ ご使用の前に（設定の目安）

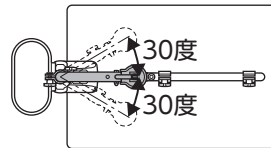
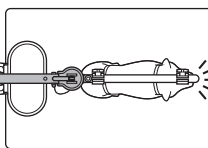
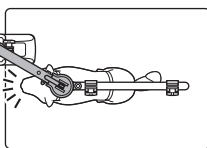
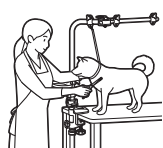
設定の目安

作業する部屋の環境や、犬の体格や症状、グルーミングの場面に合わせて、支柱及びアームの高さや角度の調節、リーシュ固定部の位置調節が行えます。以下、代表例を記載するので、設定の目安にしてください。

支柱の角度

犬の顔の正面に支柱がない設定にできます。

※支柱はテーブルの長辺から、水平と左右に30度ずつ角度をつけられます。

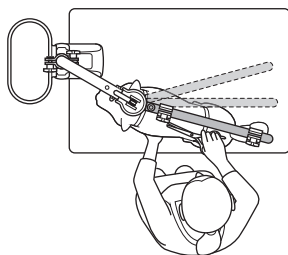


支柱角度 選択
-30度/0度/+30度

支柱（アーム）の高さと角度の調節は…P.9へ

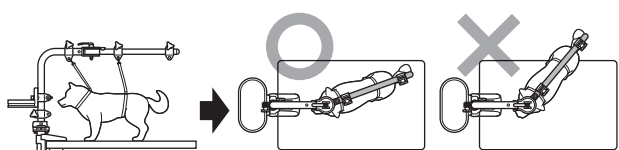
可動アームの角度

グルーミング中にアームの角度を調節することで犬の体の近くでカットできます。



可動アームに犬をつないでいる場合、トリミングテーブルからはみ出ないように設定すること

犬の落下など、思わぬ事故の原因になります。



支柱（アーム）の高さと角度の調節は…P.9へ

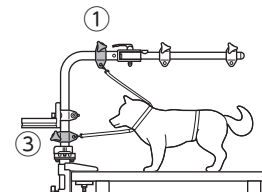
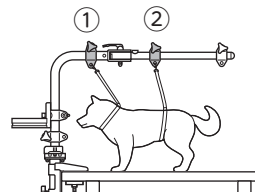
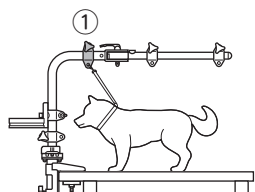
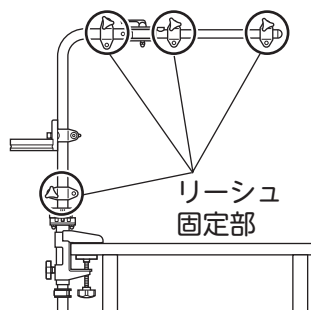
リーシュの位置

リーシュ固定部の位置調節や固定数を選べます。

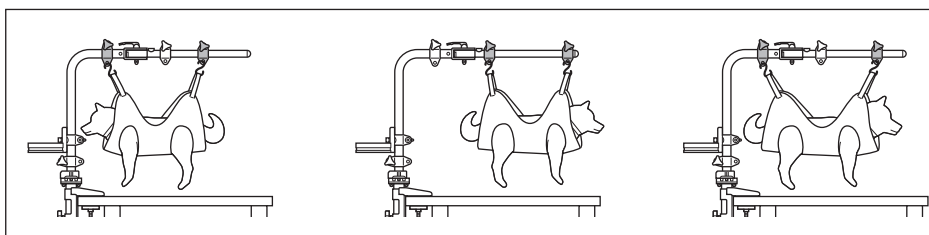
①基本的なつなぎ方

①+②腰を上げる
（腰が下がる犬など）

①+③首輪をつなぐ
（よく動く犬など）



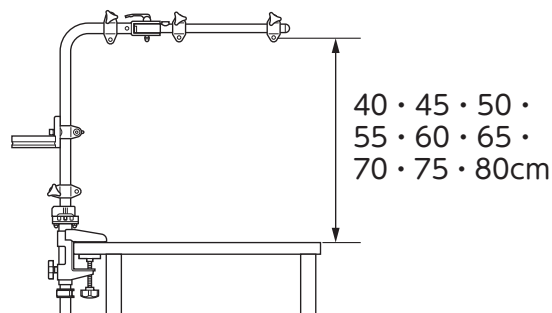
ハンモックを使う場合



リーシュ固定部の位置調節は…P.11へ

高さ調節

テーブルから40～80cm（5 cmピッチ）の範囲で調節できます。



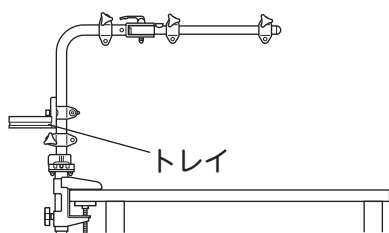
支柱（アーム）の高さと角度の調節は…P.9へ

トレイの設定

- 表面をトレイ、裏面の凹凸のある面をトリーツ皿として使用できます。
- 使いやすい高さや犬の体格に合わせて高さ調節を行えます。

●トレイとして使う場合

- 支柱の外側に取り付けます。
- 小物類を置くことができます。



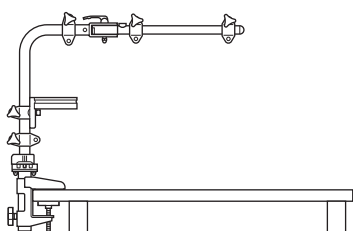
注意



トレイは耐荷重 1 kg です。耐荷重を超えるものやトレイからはみ出るものは乗せないこと

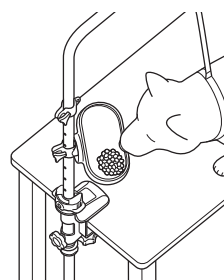
●トリーツ皿として使う場合

- 支柱の内側に取り付けます。

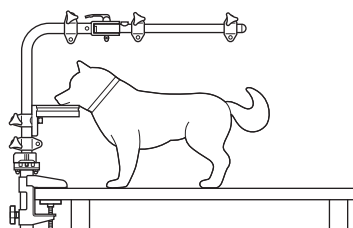


※トリーツ皿として使う場合は、水平の他、犬が舐めやすい角度に調節できます。

※角度は30度ずつ調節できます。



※あご寄せ（チンレスト）としても使っていただけます。



トレイ（トリーツ皿）の高さ、位置及び角度調節は…P.12へ

確認しましょう

！安全上のご注意

＊ご使用の前に

♡使いまししょう

💧お手入れしまししょう

？保証規定、保証書

✖ ご使用の前に（調節方法）

支柱（アーム）の高さと角度調節

注意



犬をつないだ状態で調節しないこと

①リーシュ固定部などを支柱の上までずらす。

※ずらし方は、P.11を参照してください。

②支柱ガタ防止ノブボルトをゆるめる。

③支柱を持ち、上へ引き上げる。

④「高さ/角度調節ピン」を抜いて、任意の高さの穴へはめる。

注意



「高さ/角度調節ピン」は以下のよう差し込むこと

- ・まっすぐに差し込むこと
- ・最後まで差し込むこと
- ・上下の向きを間違えずに差し込むこと

注意

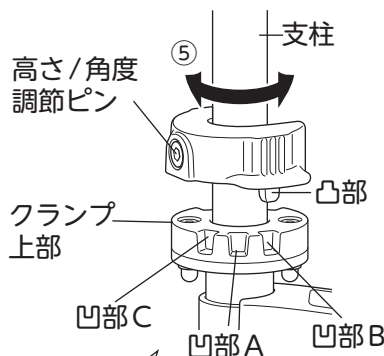
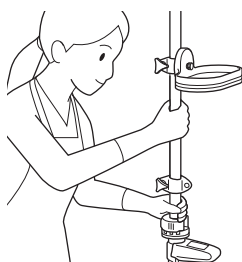


「高さ/角度調節ピン」とクランプ上部の間に指を入れないこと

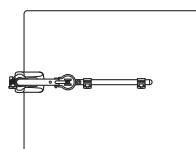
支柱が下がった際、指を挟む可能性があります。

⑤支柱を回転させ、「高さ/角度調節ピン」下部の凸部とクランプ上部の凹部を合わせる。

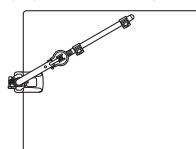
⑥「高さ/角度調節ピン」より上部の支柱をもち、支柱を下げて⑤で合わせた凹凸をはめる。



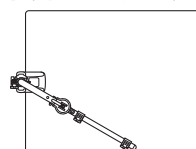
凹部A
水平角度



凹部B
奥に30度の角度



凹部C
手前に30度の角度



⑦支柱ガタ防止ノブボルトをしめる。

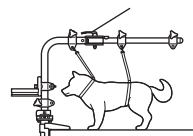
可動アームの角度調節

注意



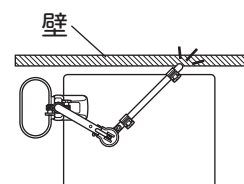
可動アーム固定レバーをロックした状態でカット等の作業を行うこと

可動アーム固定レバー

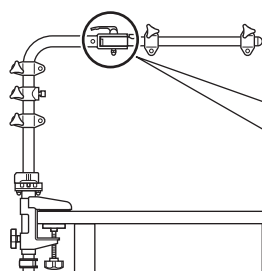


可動アームを動かす場合、壁に可動アームが接触しないよう、注意すること

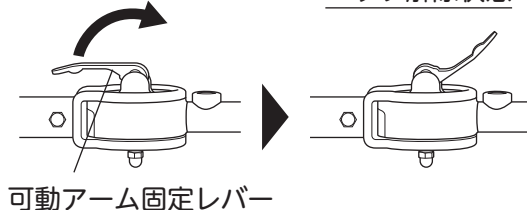
壁から離して設置することをおすすめします。



①可動アーム固定レバーを上げてロックを解除する。



ロック解除状態



可動アーム固定レバー

注意

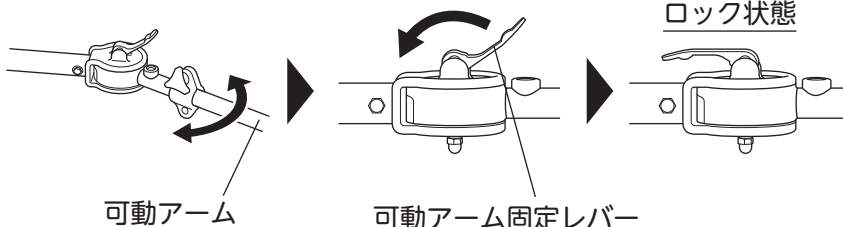


ロックの解除の際、可動アーム固定レバーを上げること

中途半端な高さでアームを可動させると、不慮の事故や破損につながります。



②可動アームを任意の位置に動かし、可動アーム固定レバーを下げてロックする。



ロック状態

可動アーム

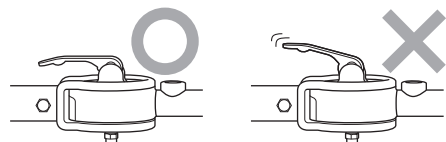
可動アーム固定レバー

注意



ロックの際、可動アーム固定レバーを下げること

可動アーム固定レバーを下げきれていないとロックがきかず、製品の破損につながります。



※可動アーム固定レバーが途中でひっかかる場合、アームの位置をずらして無理なくロックできる場所でロックしてください。

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用前に

使いましょう

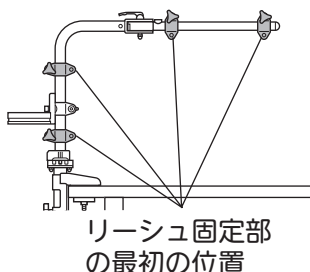
お手入れしましょう

保証規定、保証書

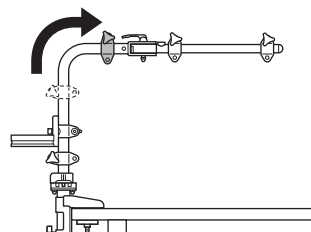
✖ ご使用の前に（調節方法）

リーシュ固定部の位置調節

リーシュ固定部は位置を変えられます。



この位置のリーシュ固定部は上側に移動できます。（①でゆるめた三角ノブボルトを抜いてからスライドさせてください）

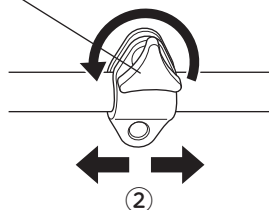


①三角ノブボルトをゆるめる

三角ノブボルト

①ゆるめる

②リーシュ固定部を希望の位置にスライドさせる



③①でゆるめた三角ノブボルトをしめる

③しめる



リーシュの取り付け穴が下向きになるように固定してください。

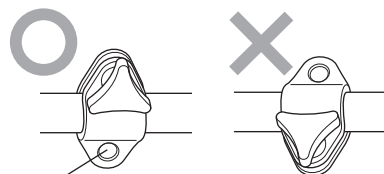
三角ノブボルトは最後までしっかりしめること

固定がゆるいとリーシュが動く等、予期せぬ事故の原因となります。

注意



リーシュ固定部を上下逆向きで固定しないこと



リーシュの取り付け穴

確認しましょう

！安全上の注意

✖ ご使用の前に

♡使いましょう

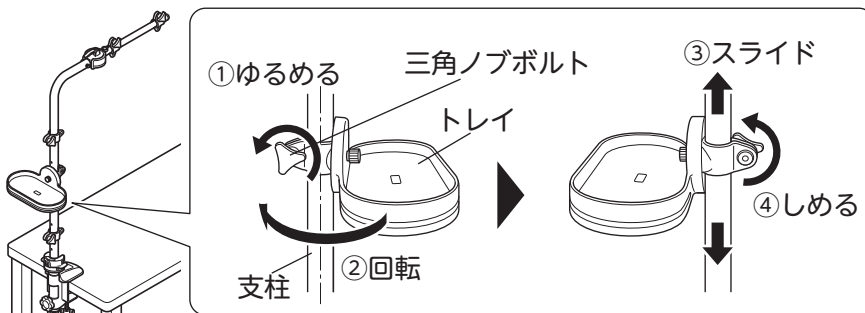
💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

トレイの高さ、位置及び角度調節

高さとの調節(トレイとして使う場合)

- ①トレイの三角ノブボルトをゆるめる。
- ②支柱を軸にトレイを回転させてテーブルの外側に配置する。
- ③希望の高さ、希望の向きにスライドさせる。
- ④①でゆるめた三角ノブボルトをしめる。



確認しましょう

！安全上のご注意

＊ご使用の前に

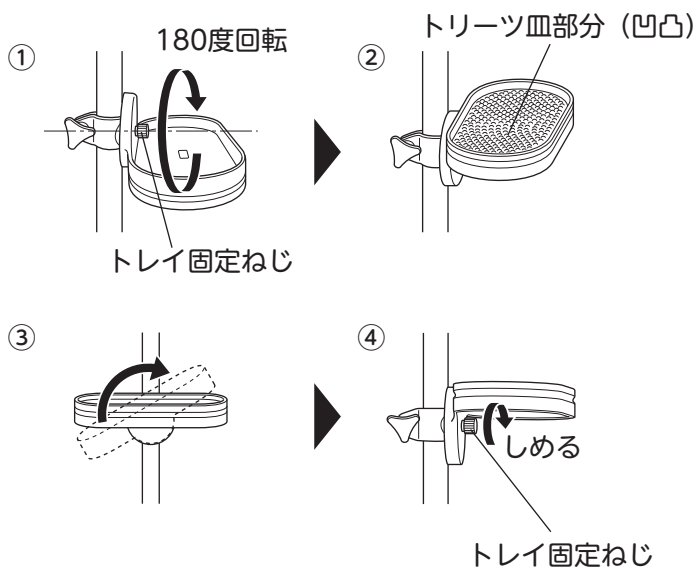
使いまししょう

お手入れしまししょう

？保証規定、保証書

位置調節と角度調節(トリーツ皿として使う場合)

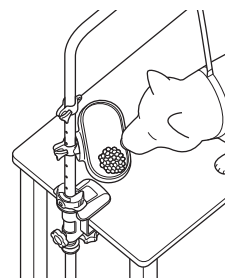
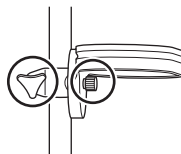
- ①トレイ固定ねじをゆるめる。
- ②トレイ固定ねじを軸にトレイを180度回転させる。(トリーツ皿部分を上にする)
- ③トレイ固定ねじを軸に角度を回転させる。
※角度は30度ずつ調節でき、斜めの状態でも固定できます。
- ④トレイ固定ねじをしめて固定する。
※高さ調節方法はP.12上部の「高さとの調節」を参照してください。



注意

ねじ・ボルト類はしっかり回しきって固定すること

ゆるんでいたら、しめなおしてください。



❤️ 使いましょう

👁️ 確認しましょう

注意



毎回ご使用前に必ず製品にガタつきがないか確認してから使用すること

暴れたり、ふらつきのある犬に使うときは十分に注意して使用すること

使用中にゆるみやガタつきが発生した場合は放置せず、ねじ・ボルト類をただちに締め直すこと

! 安全上の注意

✖️ ご使用前に

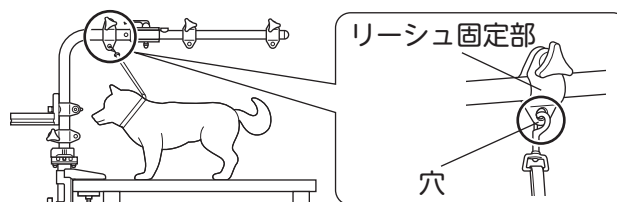
❤️ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

? 保証規定、保証書

リーシュを取り付ける

リーシュ固定部の穴にリーシュのナスカンやS字フックをかけ、リーシュやハンモックを取り付けてください。



注意



リーシュは下記のように正しくつなぐこと

- ・犬の位置はテーブルの端により過ぎない位置にする
- ・リーシュ固定部の穴以外にリーシュをかけない
- ・リーシュのたるみは極力小さくすること

犬の落下の危険の他、製品に過度な荷重がかかり破損の原因になります。



日常のお手入れ方法

こまめにお手入れしてください。

※推奨洗剤：中性洗剤

薬剤や水が付いた場合、すぐにふき取ってください。

乾かす場合はやわらかい布などで乾拭きし、直射日光を避け、陰干ししてください。

●お手入れ・保管時の注意

注意



・下記を使ってお手入れしないこと

- ・たわし、研磨剤入りのスポンジなど、製品を傷つけるもの
- ・シンナー、クレゾール

・薬剤に浸しての消毒は行わないこと

・薬剤を付着させた状態で保管しないこと

・重量物を上にのせて保管しないこと

製品の破損の原因になります。

長期間テーブルに取り付けたままにしないこと

設置するテーブルの材質や塗装により、長期間テーブルに取り付けたままにすると、テーブルにゴムの跡がつく可能性があるため、ご注意ください。

下記の場所で保管しないこと

- ・ストーブなど火気の周り・直射日光のあたる場所
- ・多湿の環境、濡れた場所

火災や製品の変形・変色・破損の原因になります。

オゾンガスを用いて消毒しないこと

分解清掃のため支柱をクランプから引き抜くときはテーブルに固定した状態で行わないこと

取り外した製品を壁に立てかけないこと

 確認しましょう

 安全上の注意

 ご使用前に

 使いましょう

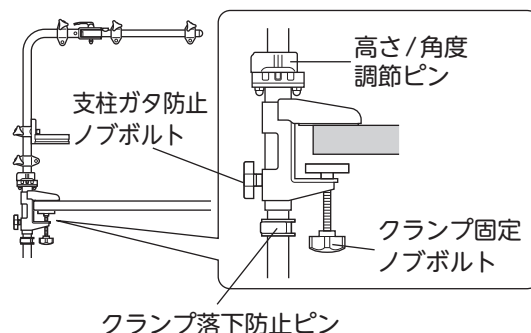
 お手入れしましょう

 保証規定、保証書

🔧 お手入れしましょう

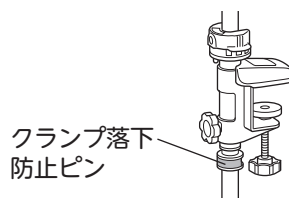
製品を取り外して、お手入れ・保管する場合

- ①支柱ガタ防止ノブボルトをしめ、クランプ落下防止ピンが差し込んであることを確認する。
- ②クランプ固定ノブボルトをゆるめてテーブルから取り外す。



クランプ落下防止ピンを引き抜いた状態で下記を行わないこと

- ・支柱の高さ調節
- ・テーブルからの取り外し
- ・持ち運び

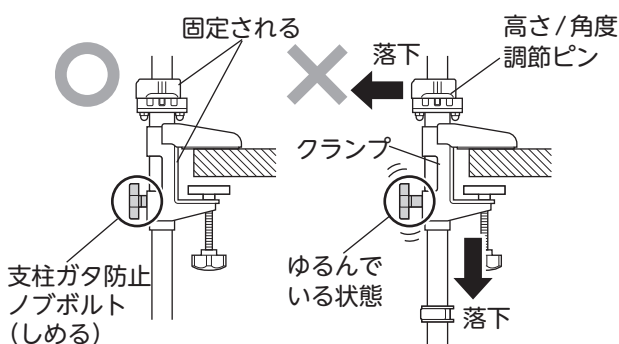


製品が長いので取り付け、取り外し時は周囲にぶつけないよう、十分注意すること



テーブルから取り外すときは、先に支柱ガタ防止ノブボルトをしめること

支柱ガタ防止ノブボルトがゆるんでいる状態でテーブルから製品を取り外すと、製品を傾けたときに「高さ/角度調節ピン」が外れて落下したり、「クランプ」が下に落ちるので、指などをはさんでケガに繋がる可能性があります。



- ③製品が倒れてこないよう注意して保管してください。

クランプを取り外してお手入れする場合

- ①「高さ/角度調節ピン」をセロハンテープなどで動かないように支柱に仮固定する。
- ②トレイを外す。(P.6「トレイを取り付ける」と逆の手順で行ってください)
- ③製品をテーブルから外して安全な場所に置く。(P.15参照)

注意

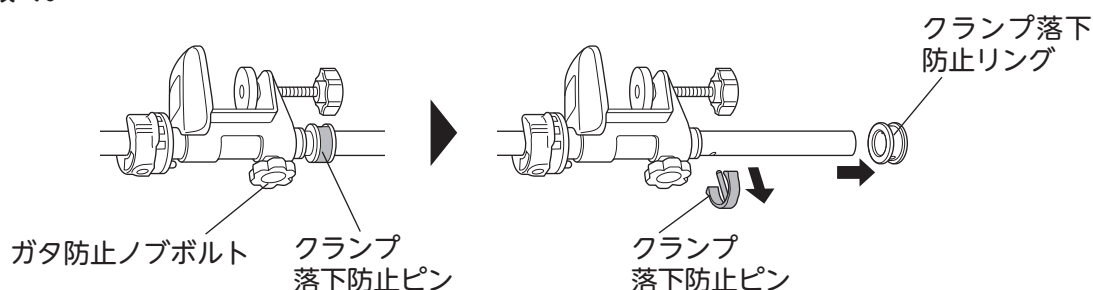


製品をテーブルから取り外して行うこと

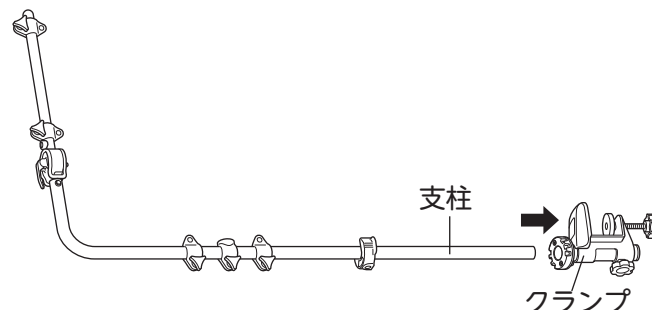
製品をテーブルに取り付けたままだと、以下の危険があります。

- ・長い支柱を上へ引き抜くことになるので、天井、周囲や自身にぶつかりけがや破損につながります。

- ④ガタ防止ノブボルトをゆるめ、クランプ落下防止ピンを抜き、クランプ落下防止リングを支柱から引き抜く。



- ⑤支柱からクランプを引き抜く。



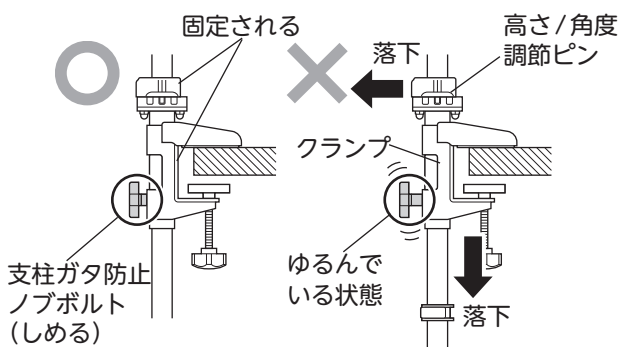
- ⑥各部件の汚れをふき取るなど、お手入れを行う。
- ⑦外したときと逆の手順で組み立てる。

注意



製品を立てるときは、クランプ上部の凹部と「高さ/角度調節ピン」の凸部がはまっている状態で支柱ガタ防止ノブボルトをしめること

支柱ガタ防止ノブボルトがゆるんでいる状態で製品を立てると、製品を傾けたときに「高さ/角度調節ピン」が外れて落下したり、「クランプ」が下に落ちるので、指などをはさんでケガに繋がる可能性があります。



製品を立てる前に必ずクランプ落下防止ピンを取り付けられているか確認すること

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

保証規定、保証書

保証規定、保証書

保証とアフターサービス よくお読みください

- 保証期間中は
保証書の規定に従って修理（部品交換もしくは製品交換）させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間を過ぎているときは
部品交換すれば使用できる製品については、ご希望により有料で部品交換させていただきます。
部品供給期間はメーカー製品廃番後3年となります。
ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給できないケースがございますのでご了承ください。

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理（部品交換もしくは製品交換）いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理（部品交換もしくは製品交換）は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) 消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理（部品交換もしくは製品交換）をお約束するものです。
したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒
	ご芳名 TEL
★販売店	住 所 〒
	店 名 TEL

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直にお買い上げの販売店にお申し出ください。
ただし、記入のない場合、本保証書と領収書（上記★印欄（お買い上げ日、販売店等）、製品名が記入されているもの）をご提示いただければ、上記保証規定により、保証させていただきます。

- 製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

ワンエイド

検索